

させぼ夢大学

発行●させぼ夢大学広報委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555
FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

お尋ねテレホン 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.185 <2010・7>

平成22年度 第4回	2010年 7月22日(木)	●開 場	午後 5:30
		●夢のひろば	午後 6:00
アルカスSASEBO 大ホール		●講 演	午後 6:30

今回の講演は、日常健康管理について、身近な問題を基にミクロの問題からマクロの世界を解りやすく解説していただく人気医学博士の中原英臣さんをお迎えします。

中原さんは分子生物学の専門家として「次々に開発される抗生物質によって、人間の圧倒的な勝利に終わったと思われていた『伝染病』との闘いが細菌たちの反乱によって復活している。自然を無視した人間の自然開発による環境破壊といわれる文明社会。人間社会での電磁波は今や生活環境において、増えることはあっても消滅することはあり得ない」との立場か



ら、厚労省やマスコミ関係に対して、国民が一番に知りたい情報を科学的なデータをもとに知らせるよう、環境問題を鋭く提言されています。

また「どうも日本人は医者のかかり方・選び方が下手すぎる！」とおっしゃる中原さんです。自分自身の健康を本気で守るためにも“命に関わる情報”に耳を傾ける時代に来ています。私達が知りたい、お医者さんしかご存知ない危険な話、上手な医者のかかり方など、種明かし満載の聞き逃せない貴重な時間になりそうです。

どうぞご期待ください。

なかはら ひでおみ
新渡戸文化短期大学学長 ● 中原 英臣氏

テーマ・医者しか知らない危険な話



次回のご案内

- と き / 9月11日(土) 14:30~16:00
- 講 師 / ジャーナリスト 櫻井 よしこ氏
- テーマ / いま日本でなにが起きているか

●ベトナム生まれ。新潟県立長岡高等学校卒業。ハワイ大学歴史学部卒業。昭和46年よりクリスチャンサイエンスモニター紙東京支局勤務、53年アジア新聞財団DEPTH NEWS東京支局長。55年からNTVのニュースキャスターを16年間に亘って務めた。「エイズ犯罪・血友病患者の悲劇」で第26回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。「日本の危機」で第46回菊池寛賞を受賞。「気高く、強く、美しくあれ」(小学館)など著書多数。現在、国家基本問題研究所理事長。

中原 英臣 氏のプロフィール

●昭和20年東京都生まれ。45年慈恵医大卒業。医学博士。52年から2年間、セントルイスのワシントン大学でバイオ研究に取り組む。現在、新渡戸文化短期大学学長、早稲田大学体育局講師、日本体育協会公認スポーツドクター、産経新聞「正論」執筆メンバー等として多方面に活躍中。「元気がうれしい健康知識」(集英社)、「医者しか知らない危険な話」(文藝春秋社)など著書多数。





松本幸四郎氏、お相手：鈴木治彦氏



日本人の品格

東久保町 岩崎勢智子

「松たか子の父親です。」と黒づくめのダンディーな装いで登場された松本幸四郎さん。登場されるなり、ご自身から放たれる「日本人としての品格」のオーラが舞台いっぱい!! 眩しいほどのそのお姿に先ずは圧倒された。

そして、ご自身のことではなく、お嬢様の父親として登場されたことは、それほどお子様方を大切にされ、ご家族の輪を大切にされているのか理解するのに十分すぎる表現であった。今の日本は、家族の崩壊が問題になっていて、立派に子育てをされ、ご夫妻の二人三脚の生き方に感動をおぼえた。(奥様まで舞台にご登場いただくというハプニングも嬉しかった。その奥さまを迎えるご主人の幸四郎さんは、起立されてお迎えを。すごい人間性である。)

今回は、トークショーという形式をとられたが、お相手の鈴木氏のリードもよく、ほほ、幸四郎さんの思いをぐいぐい述べられるというところで講義は進め



■永遠の好男子幸四郎さんも親ばかちゃんりん。愛娘松たか子さんが「野バラ咲く道」をカバーするエピソード披露の場面で相好を崩す姿に、大向こうから思わず高麗屋の掛け声を出すところでした。心して励みます。

光月町●国松 仁志

■いつも私のユメは「何?」と夢大学で模索してるのですが…。「人生の流れに逆らわず!」と生かされながらも、半世紀も過ぎ、幸四郎さんみたいな厳しさが不足していましたね! ひと大好きオーラを感じる彼の「他人に優しく自分に…」この講演を私もおさらいしましょう。九州美人の奥様も素敵でしたね!

比良町●岡井 眞紀

■鈴木治彦さんの八十歳というのは驚きです。以前目に掛かりましたが、四年もたっていたのですネ。語り口のやらかさとプロとしての気配りはさすがです。歌舞伎の世界では、奥さま達が内助の功で支えないと成り立たないと聞きます。梨園の妻としての奥さまの登場で少し得した気分でした。

日宇町●山口 君代

■「男60歳からの夢を叶えようとする心意気が大切」という言葉に勇気を貰った。残念ながら、あるカップルのマナーに苦言を。「夢のひろば」の最中に携帯電話。マナーモード設定なしで着信音は鳴るし、おまけに講演中もあたり構わずベチャクチャ。マナー違反の「困った大人」にはなりたくないものだ。

南風崎町●横山 春美

られていった。歌舞伎のことは勿論、教育論、政治論など幅広くご自身の思いをご披露いただき、頂くことばかりであった。その思いの広さと深さに「60歳からの夢」を私自身教えられることであった。

徒に歳ばかりを重ねるのではなく、あらゆることに興味を忘れず、努力をしていかねばと思ったのである。

それにしても、幸四郎さんの口から発せられる一言一言のなんと美しいこと!! 忘れかけていた日本語の美しさに魅了された。言葉は「言葉」。乱れている今の日本の言葉づかい、会話の仕方をもう一度見直すと、きつと世の中変わるのではないかと思っただ次第である。やはり、日本人としての品格は、忘れてはならない。

よっ! 高麗屋

黒髮町 山口 勝

名司会の鈴木氏の紹介で悠然と弁慶のように登場した幸四郎

丈。会場がどよめく。開口一番「松たか子の父親です」くだけた自己紹介にホッとす。

「勸進帳」一千回目の東大寺上演時の小さな奇跡、なんかスピリチュアルなものがあるんじゃないか。スペインに行ったときのドン・キホーテの銅像でのだれとも知れない囁きにしても、ミステリアスですよ。

演技のコツは耳、科白の間の取り方。そして聞いている人が思わず歌いたくなる、踊りたくなるのが最高。意味が深い。先代の勘三郎の「歌舞伎がすごい」ではなく、すごいから歌舞伎だ」まさに至言だ。声色もよく似ていました。演じ続けることを歌舞伎の世界では役を勤めるという。

俳句がお好きなのは知らなかった。伯父の先代の吉右衛門は、虚子の弟子で俳号も「秀山」というのは有名である。もともと魁春など二文字の芸名は俳号だと、先代吉右衛門の「雪の日や雪の科白を口ずさむ」松浦の太鼓」の芸談なんて滅多に聞けるものではない。

夢のひろば

- ◆ 日 時 / 7月22日(木) 午後6時00分~20分
- ◆ 演 目 / ホールオペラ「秘密の結婚」
- ◆ 出 演 / 演出: 恵川 智美
出演: 松山いくお・中嶋 克彦
南 のぶ子・辻 真由美
森田真美子
(ピアノ) 山口亜依子

◆ 紹介

アルカスSASEBO開館10周年記念事業で、ホールオペラ「秘密の結婚」の上演に向け、指揮・樋本英一氏、演出・恵川智美氏を迎え、2年間かけて地元音楽家の方々と共に創り上げて参りました。

◆ 解説

裕福な商人ジェロニモの2人の娘のうち、妹のカロリーナは、父のもとで働く使用人パオリーノとひそかに結婚しています。愛し合っている2人は結婚を認めてもらう機会をうかがっています。パオリーノはカロリーナの姉エリゼッタと貴族であるロビンソン伯爵との結婚話を持ってきます。ところが伯爵はカロリーナに一目惚れ。一方、パオリーノはジェロニモの妹フィダルマに仲裁を頼みますが、逆に結婚を迫られてしまいます。ついにパオリーノとカロリーナは駆け落ちしようとしませんが見つかってしまい結婚を打ち明けます。ジェロニモはカロリーナを勘当しようとしませんが、伯爵がエリゼッタと結婚することを宣言し、カロリーナとパオリーノを許すようお願いするのです。ジェロニモは2人の結婚を許し、めでたく姉妹2組の結婚を祝福します。

歌舞伎界の大御所は黒づくめの好男子!!

てらいいのないよくのなさが演技のコツだと「ラ・マンチャの男」のニューヨーク公演で開眼する。突然奥様が登場されて、一気に会場が和む。甘え上手に甘えさせ上手と惚氣られた。六十過ぎてからの夢が本当の夢、「夢とは叶えようとする心意気です」と喝破された。よっ! 大統領。日本一。

学ぶことは真似ることから

大和町 梶山 カブ子

歌舞伎キヤスターの鈴木治彦氏に促されて「高麗屋一ツ」と臆面もなく大声で掛け声を掛け、周りに躊躇する間もなく、憧れの松本幸四郎様のご登場である。既にピント合わせの準備を終えたオペラグラスで、にこやかな

講演を聴かれた感想をお待ちしています!

※締め切りは講演日の1週間後(必着)
※宛先は、させば夢大学事務局まで

お顔とファッションセンスの素晴らしい姿に見入った。歌舞伎衣装を脱がれた素顔は若々しく、数多くの活動を手掛けておられるご苦労の様子を微塵も感じさせない姿勢は流石である。

お若い頃の体験の中で「辛いことや苦しいことは逃げ出しても解決しない。毒を食らわば皿まで……の気持ちで、それ以上の辛さや苦しさに自ら立ち向かってこそ初めて克服することが出来る」という事を確信したと言われる。

又、海外での公演の話では、日本国内での厳しさは勿論であるが、海外では何事に対しても絶対と言いつつ許されぬ一層厳しい世界であると強調される。そういう中であって、英語で主役を勤められた時の学習法として先ず真似ることだと決断し、

自分がその人に成り切った時に観客に感銘を与える演技が出来たと言われる。学ぶことは真似ることだということばはよく耳にする。真似る価値を持った人、私の周りにもそういう方々が大勢おられることを改めて認識させられた。これから何だか楽しみになってくる思いである。

私達にとつては、梨苑と言われる特殊な社会と考える中で、どの様な日々をお過ごしなのだろうかと誰もが気になる場所である。ご同伴の奥様がハブニング的なご紹介にもかかわらず、気持ちよくご挨拶に立たれ、あらゆる活動の中でご主人を支えておられる心根を垣間見ることが出来た。素晴らしい奥様にお逢い出来たことは大きな幸せでした。幸四郎様は奥様から常識を学

お互いさまの心で

高島町 和泉 久美子

ばれ、奥様は幸四郎様から非常識を学ばれる……と、印象に残ることばでありました。

先日の松本幸四郎氏の講演会もほぼ満席。私は講演時間まであと10分、1階、2階と満席：バタバタと3階席へ。ギリギリでも私はスムーズに座る事ができました。でも受講の学生は後から後から……。ところが、空いている席が列の中ほどばかりで”とび””とび”と空いている。遅く来られた方は講演が始まっている為に「すみません。すみません!」と言いつつ中ほどの空席までは入っていき、通路の階段に腰をおろしたり、立ち



サンディトリップ(Sandy Trip)の演奏

講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

- 400字詰原稿用紙1~2枚程度にまとめてお書き下さい。短文でも結構です。掲載分にはささやかですが記念品をお送りします。締め切りは講演日の1週間後(必着)といたします。感動がさめないうちになるべく早く書いてお出し下さい。
- せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上掲載されない場合があります。また、一部省略させていただくこともありますので、ご了承下さい。

あて先は、〒857-0863 佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F
させば夢大学 事務局



見になったりと……。皆さん、夢大学の学生は思いやり、気くぼりののできる学生でありたいと私は思います。着席は中程からつめていただき、みんなが気持ちよく受講できる様、心がけていきたいですね。スタッフの皆様のお世話も大変です。本当にお疲れ様です。

ふるさと紀行 九十九島の 民話

4

まきしま まつらじま
「牧の島」 「松浦島」

佐世保工業高等専門学校
澤田 彰

な民話があるところ、ここがかつて放牧場だったからであらうか。そういえばこの島の南端にある「五臓の鼻」というのもその一つだ。島で育った牛や馬は五臓になると、この鼻から追いつてられ、地がたに泳いで渡らせられたので、この名があるという。

○牧の島は海賊船の集合地であった。

むかしむかし、この島のまわりには海賊船がいて、行き交う船を襲っていた。ある時、馬や牛を載せた船が通りかかった。いつものように海賊は襲いかかり、金や着物を奪おうとしたが、なにもなかったので近くの島に全部おろして、さっさと戻ってしまった。おきざりにされた牛や馬は、しかたなく島に生えている草を食べて飢えをしのいでいたが、いつのまにかそこが放牧場となり、牧の島と呼ばれるようになったと云うことです。

○昔「魔の浦」と呼ばれ恐れられていた牧の島

島の東端に小さな入り江がある。昔、ここは海賊船の集合地であった。ある時、地元者がここに潜んでいた一隻の海賊船を捕らえ、金、銀、宝玉を奪ったうえ、海賊たちに石の重りを付けて海中に投げ込んだ。その時、海賊の一人が沈みながらも海面に顔を出し「この恨み七代

の後までたたつてやる」といいながら海底に消えていった。その後、言葉どおり海賊を襲った人の子孫には必ず不幸があったと云うことです。



■ひとでの形に見える「松浦島」
— 九十九島の中で一番大きな島 —

むかしむかし、そのおおむかし、漁師が貝が採れないので、「ひとで」を採って、松浦島にみんな捨てました。そのうち、「ひとで」がつもりつもりで松浦島になりました。

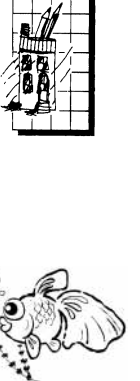
だから松浦島が「ひとで」の形に見えるようになったと云うことです。

○古老の話

遠く明応の昔から、平戸松浦家の所有地で、松浦家のタカ狩りの地だったとも言われています。また、松浦家兵船のつなぎ場所であったと云うことです。

また、平戸藩の罪人を、この島に島流しにし、住まわせたとも言われています。

専務のひとり



●講師さんのお迎えは？

講師さんのほとんどは飛行機でお越しになりますので、スタッフが必要長崎空港までお迎えに行きます。させば夢大学のシンボルマークである「猿」を染め抜いた小旗を目印に到着ロビーでお出迎えます。講演会当日、飛行機の発着状況をインターネットで検索して予定通り飛んだことが確認できた時、ほっと胸を撫で下ろします。また、長崎空港で講師さんをタクシーにお乗せして出発した時と、佐世保みなとICを降りた時にスタッフから電話連絡が入ります。アルカスにお着きになるまで連絡を取り合っています。普段はインターネットや携帯電話等に依存していないつもりですが、この時はやはりネット社会、携帯電話に感謝感激です。

6月の講師「松本幸四郎さん」

はご夫妻で、JRの電車でお見えになりました。もちろん、JRの時も佐世保駅のホームでお出迎えますし、お見送りをいたします。今回は近藤理事長と両副理事長が担当しました。特別にお見送りは改札口でお別れしたのですが、振り返り、振り返り頭を下げてホームへ行かれるご夫妻の品性に触れ、大変感激したとのことでした。（追伸！SASEBOバーガーもご夫妻に同行いたしました。）

●本場にマナーは大丈夫!?

感想文や3行感想文にも苦言がありました。ご指摘に感謝しています。今年4月から携帯電話をマナーモードにして貰うように、アナウンスと同時に会場を回るよう工夫しましたが、なかなかうまくいきません。また「2階席から見ると、席取りと思われる荷物置きがあるじゃないか。注意してください」「前の人のおしゃべりで気が散って叶わない。どうにかしてくれ」と口頭や電話で苦情が届きます。スタッフの努力もむなしく、ごく一部の方に首を傾げたくするような態度があつています。ご自身のことと受け止める方は大丈夫なのですが…。

●ご留意ください。

「次回のご案内」でもお知らせしていますが、9月の講演会（櫻井よしこさん）は、9月11日（土）14時30分〜16時00分の予定です。通常の講演会と曜日・時間帯が違います。夢のつづき9月号でも再確認を！
また、8月は講演会がありません。

○昔「魔の浦」と呼ばれ恐れられていた牧の島

島の東端に小さな入り江がある。昔、ここは海賊船の集合地であった。ある時、地元者がここに潜んでいた一隻の海賊船を捕らえ、金、銀、宝玉を奪ったうえ、海賊たちに石の重りを付けて海中に投げ込んだ。その時、海賊の一人が沈みながらも海面に顔を出し「この恨み七代

の後までたたつてやる」といいながら海底に消えていった。その後、言葉どおり海賊を襲った人の子孫には必ず不幸があったと云うことです。

講師さんのお迎えは？

本場にマナーは大丈夫!?

ご留意ください。

次回のご案内

夢のつづき（毎月1日発行）／第19巻第4号／通巻第185号・平成22年7月1日発行
平成4年10月20日 第二種郵便物認可・年間購読料1,700円（郵便料別）